平成26年12月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年５月13日

上 場 会 社 名　　富士ソフト株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　9749　　URL http://www.fsi.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）代表取締役　社長執行役員　（氏名）　坂下　智保
問合せ先責任者　（役職名）執行役員　経営企画部長　（氏名）　内藤　達也　（TEL）(045)650-8811(代)
四半期報告書提出予定日　　平成26年５月14日　　配当支払開始予定日　　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　　：有
四半期決算説明会開催の有無　　：有　　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成26年12月期第１四半期の連結業績（平成26年１月１日～平成26年３月31日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第１四半期	39,154	－	2,253	－	2,206	－	1,246	－
25年12月期第１四半期	34,235	△2.0	1,406	△26.8	2,011	10.5	1,684	432.4

（注）包括利益　26年12月期第１四半期　　746百万円（　　－%）　25年12月期第１四半期　　2,389百万円（　385.2%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第１四半期	40.03	39.93
25年12月期第１四半期	54.18	54.17

当社は、平成25年12月期より決算日を３月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、当第１四半期（平成26年１月１日から平成26年３月31日）と、比較対象となる前第１四半期（平成25年４月１日から平成25年６月30日）の期間が異なるため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。（前第１四半期は、３月決算であった当社及び連結対象会社は平成25年４月１日から平成25年６月30日を、12月決算であった連結対象会社は平成25年１月１日から平成25年３月31日をそれぞれ連結対象期間としておりました。）

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第１四半期	155,960	95,409	54.6
25年12月期	154,522	95,072	54.9

（参考）自己資本　26年12月期第１四半期　85,101百万円　　25年12月期　84,806百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	－	14.00	－	7.00	21.00
26年12月期	－				
26年12月期(予想)		14.00	－	14.00	28.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成26年12月期の連結業績予想（平成26年１月１日～平成26年12月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	72,000	－	3,400	－	3,300	－	1,700	－	54.59
通期	144,000	－	7,800	－	7,700	－	4,300	－	138.09

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

前連結会計年度は、決算期の変更により、平成25年４月１日から平成25年12月31日までの９ヶ月間となっております。このため、対前期及び前年同四半期増減率については記載しておりません。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　社（社名）　　、除外　　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期１Ｑ	33,700,000株	25年12月期	33,700,000株
②　期末自己株式数	26年12月期１Ｑ	2,561,178株	25年12月期	2,560,948株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期１Ｑ	31,138,952株	25年12月期１Ｑ	31,090,341株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料４ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
第１四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
第１四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
(継続企業の前提に関する注記) …… 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 9
(セグメント情報等) …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

	売上高（億円）	営業利益（億円）	経常利益（億円）	四半期純利益（億円）	１株当たり四半期純利益（円）
平成26年12月期第１四半期	391	22	22	12	40.03
前年同一期間(※１)	360	19	25	15	48.21
前年同一期間増減率	8.5%	14.7%	△14.8%	△17.2%	△17.0%
（参考）平成25年12月期第１四半期(※２)	342	14	20	16	54.18

※１　前年同一期間は、当第１四半期連結累計期間（平成26年１月１日から平成26年３月31日）に対応する前年の同一期間（平成25年１月１日から平成25年３月31日）であります。

※２　平成25年12月期第１四半期は、３月決算であった当社及び連結対象会社は平成25年４月１日から平成25年６月30日までを、12月決算であった連結対象会社は平成25年１月１日から平成25年３月31日までをそれぞれ連結対象期間としておりました。

以下、増減率については、「前年同一期間」との比較で記載しております。

当第１四半期連結累計期間（平成26年１月１日から平成26年３月31日まで）における日本経済は、政府の各種経済対策や消費税率引き上げ前の駆け込み需要を背景として個人消費、設備投資、雇用情勢が上向く等、引き続き回復基調を示してまいりました。

このような状況の下、当社のシステム構築分野では、社会インフラ関連や金融分野、ネットビジネス関連、自動車制御分野等を中心に売上を拡大し、モバイル端末開発の落ち込みをカバーして増収に結び付けてまいりました。また、消費税法改正対応やWindowsXPからのOS移行を支援するサービス等の季節的な増収要因もありました。さらに、プロダクト・サービス分野では、大型のライセンスビジネスが成約したほか、コミュニケーションパートナーロボット「“PALRO”（パルロ）」「みらいスクールステーション」「moreNOTE」等の戦略商材の拡販に引き続き努めてまいりました。

グローバル分野につきましては、平成26年１月に、連結子会社である株式会社ヴィンクスが、アセアン地域における大手総合小売業向けのサポート拠点及び開発拠点としての機能を担うため、ヴィンクス ベトナムを設立し事業を開始いたしました。

また、予てから研究開発を続けてまいりました再生医療分野では、平成26年２月に富士ソフト・ティッシュエンジニアリング株式会社を設立し、研究からビジネス（製造販売業、細胞加工業）へ一歩踏み出しました。

こうした状況下、第１四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は391億54百万円（前年同一期間増減率8.5%増）となり、販売費及び一般管理費は66億12百万円（前年同一期間増減率2.2%増）、営業利益は22億53百万円（前年同一期間増減率14.7%増）となりました。また、金融系関連会社にて持分法による投資損失を計上したことで、経常利益は22億６百万円（前年同一期間増減率14.8%減）となり、四半期純利益は12億46百万円（前年同一期間増減率17.2%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①ＳＩ（システムインテグレーション）事業

ＳＩ事業につきましては、組込系/制御系ソフトウェアにおいて、前年より引き続き、自動車関連および通信制御系の案件等が好調に推移したものの、主要顧客における携帯事業縮小の影響でモバイル系が大幅に減少したことを主因に減収になりました。業務系ソフトウェアにおきましては、単体におけるインターネットビジネス関連やヴィンクスの流通系開発案件が伸長し増収になりました。プロダクト・サービスにおきましては、単体におけるライセンスビジネスが好調に推移したことを主因に大幅増収になりました。アウトソーシングにおきましては、主要顧客の経営統合の影響等により減収になりました。

以上の結果、売上高は364億11百万円（前年同一期間増減率7.9%増）、営業利益は20億80百万円（前年同一期間増減率19.5%増）となりました。

※ＳＩ事業の主な売上高の内訳については、以下の通りであります。

（単位：千円）

			売上高	前年同一期間比(%)
ＳＩ事業合計			36,411,806	107.9
	システム構築		20,422,845	100.6
		組込系/制御系ソフトウェア	9,411,185	90.9
		業務系ソフトウェア	11,011,660	110.8
	プロダクト・サービス		15,988,961	118.9
		プロダクト・サービス	11,186,565	132.3
		アウトソーシング	4,802,395	96.3

②ファシリティ事業

ファシリティ事業につきましては、当社及び一部の連結子会社が所有しているオフィスビルの賃貸収入等が、テナント退去に伴い減少したことより、売上高は４億86百万円（前年同一期間増減率7.9%減）となり、営業利益は55百万円（前年同一期間増減率55.4%減）となりました。

③その他

その他につきましては、データエントリー事業及びコンタクトセンター事業等の収入により、売上高は22億55百万円（前年同一期間増減率23.5%増）となり、営業利益は1億16百万円（前年同一期間増減率18.6%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（総資産）

当第１四半期連結会計期間末における総資産は1,559億60百万円（前連結会計年度末差14億37百万円増）となりました。その内訳は、流動資産が543億42百万円（前連結会計年度末差24億34百万円増)、固定資産が1,016億18百万円（前連結会計年度末差９億97百万円減）であります。

流動資産の主な変動要因は、受取手形及び売掛金が324億82百万円（前連結会計年度末差42億22百万円増）になったこと等によるものであります。

固定資産の主な変動要因は、建物及び構築物が減価償却等により350億20百万円（前連結会計年度末差３億１百万円減）になったことと、のれんが36億80百万円（前連結会計年度末差２億85百万円減）になったこと等によるものであります。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における負債総額は605億51百万円（前連結会計年度末差11億円増）となりました。その内訳は、流動負債が453億67百万円（前連結会計年度末差55億12百万円増)、固定負債が151億83百万円（前連結会計年度末差44億11百万円減）であります。

流動負債の主な変動要因は、買掛金が102億98百万円（前連結会計年度末差28億65百万円増)、短期借入金が19億29百万円（前連結会計年度末差39億33百万円減)、コマーシャル・ペーパーが70億円（前連結会計年度末差30億円増)、賞与引当金が46億32百万円（前連結会計年度末差22億35百万円増）になったこと等によるものであります。

固定負債の主な変動要因は、長期借入金が53億40百万円（前連結会計年度末差40億85百万円減）になったこと等によるものであります。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産は954億９百万円（前連結会計年度末差３億37百万円増）となりました。また、自己資本比率は前連結会計年度末の54.9%から54.6%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第２四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成26年２月13日公表の「平成25年12月期決算短信」に記載のとおりであり、当該連結業績予想の修正はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

一部の連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成26年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,345,725	12,724,913
受取手形及び売掛金	28,260,519	32,482,604
有価証券	2,302,205	2,200,021
商品	270,467	708,122
仕掛品	1,810,083	1,056,670
原材料及び貯蔵品	38,686	33,502
その他	4,916,143	5,158,975
貸倒引当金	△36,394	△22,467
流動資産合計	51,907,437	54,342,343
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	56,784,117	56,855,100
減価償却累計額	△21,462,708	△21,835,009
建物及び構築物（純額）	35,321,408	35,020,091
土地	30,415,744	30,415,744
建設仮勘定	79,087	154,876
その他	15,321,201	15,148,850
減価償却累計額	△11,643,816	△11,676,821
その他（純額）	3,677,385	3,472,029
有形固定資産合計	69,493,626	69,062,742
無形固定資産		
のれん	3,965,908	3,680,103
ソフトウエア	3,942,693	3,777,939
その他	192,390	191,068
無形固定資産合計	8,100,993	7,649,112
投資その他の資産		
投資有価証券	18,241,090	18,036,006
退職給付に係る資産	4,243,759	4,345,266
その他	2,573,484	2,562,616
貸倒引当金	△37,658	△37,627
投資その他の資産合計	25,020,675	24,906,262
固定資産合計	102,615,295	101,618,117
資産合計	154,522,732	155,960,460

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成26年３月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,433,520	10,298,800
短期借入金	5,862,270	1,929,200
コマーシャル・ペーパー	4,000,000	7,000,000
1年内返済予定の長期借入金	9,645,058	11,166,176
未払費用	3,349,520	2,659,131
未払法人税等	275,376	1,508,118
賞与引当金	2,397,009	4,632,494
役員賞与引当金	121,186	119,871
工事損失引当金	79,963	120,548
その他	6,691,568	5,933,497
流動負債合計	39,855,474	45,367,838
固定負債		
長期借入金	9,426,177	5,340,241
役員退職慰労引当金	293,938	288,375
退職給付に係る負債	5,032,272	5,041,949
その他	4,842,870	4,513,017
固定負債合計	19,595,258	15,183,583
負債合計	59,450,732	60,551,422
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,200,289	26,200,289
資本剰余金	28,505,941	28,505,941
利益剰余金	39,546,398	40,457,219
自己株式	△5,176,648	△5,177,106
株主資本合計	89,075,980	89,986,343
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,902,435	3,256,098
繰延ヘッジ損益	9,021	729
土地再評価差額金	△9,051,088	△9,051,088
為替換算調整勘定	351,393	310,134
退職給付に係る調整累計額	518,317	598,918
その他の包括利益累計額合計	△4,269,919	△4,885,207
新株予約権	21,082	23,720
少数株主持分	10,244,856	10,284,181
純資産合計	95,072,000	95,409,037
負債純資産合計	154,522,732	155,960,460

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成26年１月１日 至 平成26年３月31日）
売上高	34,235,712	39,154,051
売上原価	26,246,904	30,288,196
売上総利益	7,988,807	8,865,855
販売費及び一般管理費	6,582,175	6,612,130
営業利益	1,406,632	2,253,725
営業外収益		
受取利息	6,094	9,722
受取配当金	53,322	4,825
持分法による投資利益	546,106	－
為替差益	－	20,366
助成金収入	34,246	9,801
補助金収入	12,243	19,115
システムサービス解約収入	－	20,925
その他	92,361	8,031
営業外収益合計	744,375	92,789
営業外費用		
支払利息	79,625	47,652
持分法による投資損失	－	13,034
為替差損	35,404	－
補償損失	－	52,030
その他	24,311	27,299
営業外費用合計	139,341	140,016
経常利益	2,011,666	2,206,497
特別利益		
投資有価証券売却益	13,568	31,075
持分変動利益	455,926	－
特別利益合計	469,494	31,075
特別損失		
固定資産除却損	－	39,255
事務所移転費用	－	10,473
特別損失合計	－	49,729
税金等調整前四半期純利益	2,481,160	2,187,843
法人税、住民税及び事業税	698,162	1,471,283
法人税等調整額	△58,039	△716,026
法人税等合計	640,122	755,257
少数株主損益調整前四半期純利益	1,841,038	1,432,586
少数株主利益	156,557	186,058
四半期純利益	1,684,481	1,246,527

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成26年１月１日 至 平成26年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,841,038	1,432,586
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	356,186	△560,496
繰延ヘッジ損益	△7,752	△15,372
為替換算調整勘定	243,972	△106,982
退職給付に係る調整額	－	18,430
持分法適用会社に対する持分相当額	△44,124	△21,376
その他の包括利益合計	548,282	△685,797
四半期包括利益	2,389,320	746,789
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,122,367	632,291
少数株主に係る四半期包括利益	266,952	114,498

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	ＳＩ事業	ファシリティ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	32,116,045	513,372	32,629,418	1,606,294	34,235,712	－	34,235,712
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,802	162,233	175,036	268,685	443,722	△443,722	－
計	32,128,848	675,606	32,804,455	1,874,979	34,679,434	△443,722	34,235,712
セグメント利益	1,209,785	191,933	1,401,719	5,150	1,406,869	△237	1,406,632

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データエントリー事業及びコンタクトセンター事業等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△237千円には、セグメント間取引消去△237千円が含まれております。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成26年１月１日　至　平成26年３月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	ＳＩ事業	ファシリティ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	36,411,806	486,999	36,898,806	2,255,245	39,154,051	－	39,154,051
セグメント間の内部売上高又は振替高	45,153	155,433	200,587	235,311	435,898	△435,898	－
計	36,456,960	642,433	37,099,393	2,490,556	39,589,950	△435,898	39,154,051
セグメント利益	2,080,835	55,931	2,136,767	116,365	2,253,132	592	2,253,725

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データエントリー事業及びコンタクトセンター事業等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額592千円には、セグメント間取引消去592千円が含まれております。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。